

BUSINESS REPORT

第94期 報告書

2023.1.1 ▶ 2023.12.31

市光工業株式会社





当連結会計年度における我が国経済は、コロナ禍からの脱却が進み経済活動が正常化する中で、個人消費の持ち直しや企業の業況判断の改善など、景気は緩やかに回復いたしました。特に、賃上げや価格転嫁の進展により、デフレ脱却の素地が整いつつある状況となりました。一方で、中東情勢やウクライナ情勢の緊迫化、円安の進行など、経済の先行きに懸念も残りました。当社グループが属する自動車業界におきましては、日本国内では、半導体不足の影響が緩和されて生産が正常化したことや、円安による輸出競争力の高まりもあり自動車生産台数は前年比で増加しました。また、中国は、メーカーの大幅な値下げなどを背景に自動車販売台数の伸びが加速し、自動車生産台数は増加しました。アセアンの自動車生産台数は、マレーシアが前年比で増加となりましたが、インドネシアとタイが前年比で減少した影響で、3か国合計では前年比で減少しました。

このような環境のもと、当連結会計年度においては、2023年8月1日付けにて、ミラー事業をSMR社へ売却した影響から、主力である日本国内の自動車生産台数の前年比市場成長率に対し、当社単体の売上高の前年比増加率は下回りました。しかしながら海外は、アセアン3か国の前年比市場成長率はマイナスであった一方で、当社のアセアン子会社3社合計の売上高は、新製品立ち上げ効果などにより前年比で増加しました。

その結果、ミラー事業の売却にもかかわらず連結ベースでは、売上高は145,897百万円（前年同期比7.7%増）と増収となりました。利益面については、増収効果や原材料費等の価格高騰分の転嫁が進展した影響などから、営業利益は7,422百万円（前年同期比88.5%増）、経常利益は持分法による投資利益1,024百万円の計上などもあり8,130百万円（前年同期比51.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、伊勢原製造所の土地の一部売却などに伴う固定資産処分益 3,971百万円等を計上した影響などから、7,838百万円（前年同期比77.2%増）と増益となりました。

配当につきましては、当社は、(1)内部留保を活用した研究開発および設備投資により企業価値の向上を図ること、および、(2)株主の皆さまに対する利益還元の向上を図っていくこと、これら(1)(2)の双方を達成することを経営の重要

課題と考えております。かかる基本方針に基づきまして、2023年12月期の配当につきましては、中間配当は株主の皆さまへの利益還元を継続する観点から1株当たり5円50銭とさせていただきます。期末配当につきましては、厳しい競争環境を勝ち抜く競争力を確保するために旺盛な技術開発の資金需要があることなどを総合的に考慮し、1株当たり5円50銭とし、年間配当は11円とし、昨年から2円増配させていただきます。

次期の見通し

2024年12月期の業績予想につきましては、半導体不足が緩和され自動車の生産回復が期待される一方で、円安による物価高やデフレ脱却後の金融引き締めの可能性など、景気減速の懸念材料も想定されます。

かような市場環境の中、売上高については、2023年12月期中に売却したミラー事業の売上高の剥落、認証問題による一部車種の生産停止による影響、アセアン市場における生産台数の減少懸念などを見込み、売上高は129,000百万円、利益面では、生産性の向上ならびに品質関係費用の減少はあるものの、売上高の減少などから、営業利益は6,700百万円、経常利益は7,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は5,000百万円と減収減益を予想しております。

なお、2024年12月期の配当につきましては、株主の皆さまへの利益還元と機関投資家・アナリスト向け決算説明会等で開示いたしました配当性向の向上などを総合的に勘案し、2023年12月期の11円から2円増配の年間配当13円を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 Christophe Vilatte (ヴィラット クリストフ)

連結財務ハイライト

売上高	145,897百万円
営業利益	7,422百万円
経常利益	8,130百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	7,838百万円

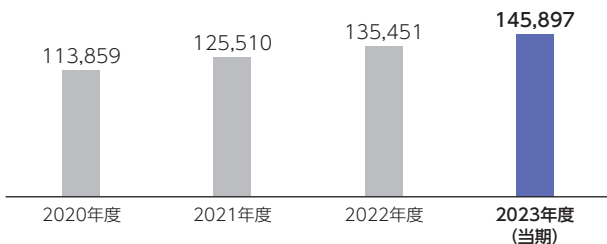
配当

期末配当	5円50銭
------	-------

連結財務の推移

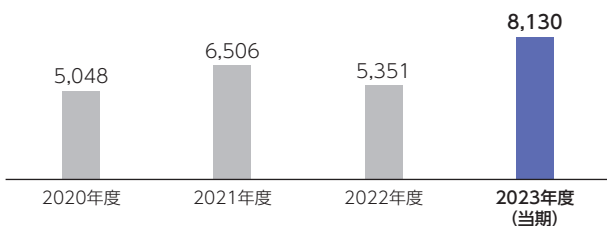
売上高

(単位：百万円)



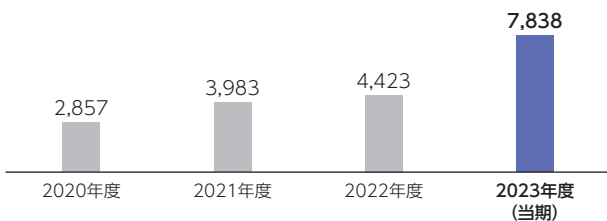
経常利益

(単位：百万円)



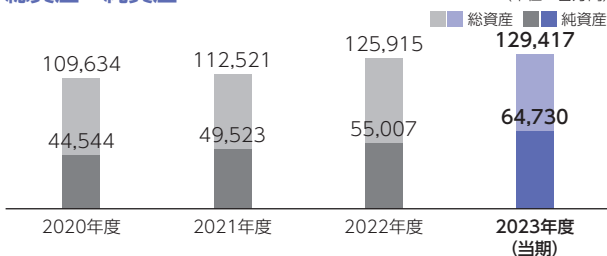
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



総資産・純資産

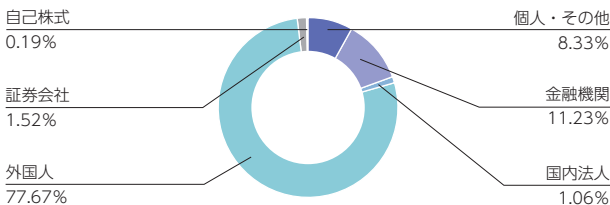
(単位：百万円)



株式の状況 (2023年12月31日現在)

発行済株式の総数	96,334,226株
発行可能株式総数	200,000,000株
株主数	7,388名

所有者別分布状況 (株式数)

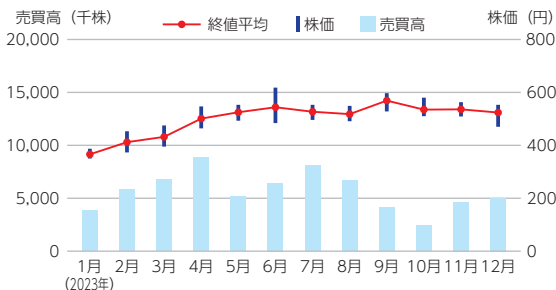


大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ヴァレオ・パイエン	58,791 千株	61.14 %
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	4,792	4.98
INVERISIS / IICS JAPAN	4,478	4.65
(株)日本カストディ銀行(信託口)	3,818	3.97
日本生命保険相互会社	988	1.02
BNP PARIBAS LUXEMBOURG / 2S / JASDEC / FIM / LUXEMBOURG FUNDS / UCITS ASSETS	777	0.80
MSIP CLIENT SECURITIES	775	0.80
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	690	0.71
JP MORGAN CHASE BANK 385781	638	0.66
野村證券(株)	612	0.63

- (注) 1. 持株比率は自己株式(180,942株)を控除して計算しています。また、表示単位未満を切り捨てて表示しています。
 2. 発行済株式の総数の10分の1以上の数を保有する大株主1名を含め、上位10名の株主を記載しています。
 3. 株式会社日本カストディ銀行の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、3,818千株であります。

株価および株式売買高の推移



(要約) 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 2023年12月31日	前連結会計年度 2022年12月31日
資産の部		
流動資産	67,337	63,280
固定資産	62,079	62,634
有形固定資産	39,701	41,656
無形固定資産	123	859
投資その他の資産	22,255	20,118
資産合計	129,417	125,915
負債の部		
流動負債	53,910	58,485
固定負債	10,775	12,421
負債合計	64,686	70,907
純資産の部		
株主資本	62,993	56,096
その他の包括利益累計額	1,044	△1,762
非支配株主持分	692	673
純資産合計	64,730	55,007
負債及び純資産合計	129,417	125,915

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2023年1月1日から 2023年12月31日まで	2022年1月1日から 2022年12月31日まで
売上高	145,897	135,451
売上原価	118,172	112,253
売上総利益	27,724	23,198
販売費及び一般管理費	20,301	19,260
営業利益	7,422	3,937
営業外収益	1,273	1,926
営業外費用	565	512
経常利益	8,130	5,351
特別利益	3,971	0
特別損失	2,295	943
税金等調整前当期純利益	9,806	4,408
法人税等	1,914	△94
当期純利益	7,891	4,502
非支配株主に帰属する当期純利益	53	78
親会社株主に帰属する当期純利益	7,838	4,423

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2023年1月1日から 2023年12月31日まで	2022年1月1日から 2022年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,372	13,005
投資活動によるキャッシュ・フロー (△は減少)	△9,609	△5,912
財務活動によるキャッシュ・フロー (△は減少)	△3,799	△4,404
現金及び現金同等物に係る換算差額	343	223
現金及び現金同等物の増減額	305	2,910
現金及び現金同等物の期首残高	8,631	5,720
現金及び現金同等物の期末残高	8,937	8,631

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

JAPAN MOBILITY SHOW 2023出展 新時代の車両に向けたインテリジェントな ライティングを提案

2023年10月25日から11月5日の12日間にかけて、東京ビッグサイトにて、「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」（以下JMS2023）が開催されました。「TOKYO MOTOR SHOW」から新たに生まれ変わり、他産業やスタートアップなど新しい仲間も募り、モビリティの未来を探るイベントです。主催の日本自動車工業会の発表によると、総来場者数は111万2,000人、コロナ禍明けとしては大変な賑わいとなりました。

ICHIKOHはヴァレオジャパンと共同出展し、JMS2023のテーマである「乗りたい未来を、探しに行こう！」に沿って、新たな展望と先進技術の世界を切り拓くため、自動車およびモビリティの分野における革新的なソリューションと製品を披露し、来場者と共有することができました。

前回2019年の開催からコロナ禍のため4年ぶりの開催です。前回はコミュニケーション・ライティングの展示が大変好評でしたが、今回はより進化したコミュニケーション・ライティングを展示いたしました。それは、自動運転車用外向けHMI “e-Face”、次世代フロント&リアライティング、路面描画プロジェクションの3つです。

路面描画プロジェクションでは「カッコイイ」「ゲームみたい」「まるでSFの世界」「安全に役立つ」など来場者の声として斬新かつ有用な技術であることが話題になっていました。



ICHIKOHブースには、JMS2023の期間中に多くの来場者が訪れ、ICHIKOHの技術や製品に関心を示していただき、“e-Face”のアンケートには約1,600人ものお客さまにご参加いただきました。

ICHIKOHは、JMS2023を通じて、モビリティの未来に貢献できる企業として、社会への認知度が向上したと思います。今後もお客様のニーズに応える製品やサービスを提供し、モビリティ産業の発展に努めてまいります。



Valeo & ICHIKOHブース

ICHIKOHブース展示紹介

進化したコミュニケーション・ライティング

■自動運転車用外向けHMI “e-Face”

“e-Face”は自動運転車から周囲の交通利用者へのコミュニケーションの支援で安心・安全を提供する外向けHMI（Human-Machine-Interface）です。

自動運転中の車両の状況に応じて文字や表情で「発進」「横断者あり」「停車」「右折」「左折」「あいさつ」などのサインを表示します。これにより、ドライバーが通常行う周囲の交通利用者とのコミュニケーションの一部をe-Faceが代替します。目標は、ドライバーが不在になるレベル4の自動運転サービスにおいても、e-Faceを活用して適切なコミュニケーションを取り、乗員にも交通利用者にも安全・安心でスムーズな運行を実現することです。

ブースではe-Faceと一緒に写真を撮れるコーナーを作り、ファミリー層の来場者に好評でした。



■次世代フロント&リアライティング

電動化・自動運転時代のくるまのための新しいライティングコンセプトです。

フロントフェイスでは、ライティングを従来のグリル部まで拡大することでデザイン性が向上するだけでなく、ランプとグリルの繋がりを持たせヘッドランプと併せてコミュニケーションの役割を担うなど新しい役割が期待できます。

リアフェイスでは、最新のスタイリングトレンドに沿ったライティングは車両に先進的な印象をもたらし、大型のライティングエリアは“被視認性”というリアランプの最も重要な役割をさらに強化します。LEDを用いたディスプレイを配置し、車間距離の注意を促したリ後続車への安全にも配慮します。

ブースでは、多様で鮮明なアニメーションが近未来のコミュニケーション・ライティングを喚起させ、驚きの声が上がっていました。



会社概要 (2023年12月31日現在)

商号	市光工業株式会社
設立	1939 (昭和14) 年12月20日
資本金	8,996,821,203円
従業員数	連結 3,163名 (1,750名) 単体 1,521名 (745名)

(注) 従業員数は契約期間に定めのない従業員であり、パートおよび派遣社員など、契約期間に定めのある従業員は () 内に期間中の平均人員を外数で記載しています。

本店	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地 TEL 0463 (96) 1451 FAX 0463 (96) 2080
----	-------------------------------------------------------------------

ホームページのご案内	会社案内、新製品情報、採用情報、株主・投資家情報などの企業情報を掲載しております。 http://www.ichikoh.com/
------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業所

本社・テクニカルセンター	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
伊勢原製造所	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
厚木製造所	〒243-0214 神奈川県厚木市下古沢857 TEL 0462 (90) 4754
藤岡製造所	〒375-8508 群馬県藤岡市東平井1467 TEL 0274 (23) 2211
中部支店 (名古屋テクニカルセンター)	〒468-0011 愛知県名古屋市中天白区平針1-117 TEL 052 (848) 6002
東京営業 (アフターマーケット部)	〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-19 TEL 0463 (43) 7225
太田営業所	〒373-0851 群馬県太田市飯田町1245-1 TEL 0463 (43) 7210
大阪営業所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-16-3 TEL 0463 (43) 7242

取締役および監査役 (2024年3月27日現在)

代表取締役会長	オードバディ アリ
代表取締役社長	ヴィラット クリストフ
代表取締役副社長	宮下和之
取締役	白土秀樹
取締役	マルテネッリ マウリッツオ
取締役	ペレス ラウール
社外取締役	青松英男
社外取締役	佐川明美
社外取締役	リエナール フランソワ ザビエ
常勤監査役	加藤伸曜
社外監査役	鶴巻 暁
社外監査役	ジュアス ジャンイヴ

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から同年12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金配当支払株主確定日	毎年12月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年6月30日
基準日	毎年12月31日 (そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
公告掲載方法	当社ホームページ http://www.ichikoh.com/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
単元株式数	100株

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページのご案内

会社案内、新製品情報、採用情報、株主・投資家情報などの企業情報を掲載しております。

<http://www.ichikoh.com/>



ICHIKOH

a Valeo company

市光工業株式会社

〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地

TEL.0463-96-1451 FAX.0463-96-2080

URL : <http://www.ichikoh.com/>

UD
FONT

見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。

